



## 2019 ワールド・カー・アワード決定 ニューヨーク

2019年4月17日 PRESS RELEASE

### ジャガー I-PACE が史上初 ハットトリックの快挙！ ススキも、ジムニーでついにワールド・アーバン・カーを受賞！

本日、ニューヨークで行われた2019年ワールド・カー・アワードの授賞式で、ジャガーI-PACEが本賞も含めて見事3部門を受賞した。ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー賞、ワールド・カー・デザイン賞、そして、ワールド・グリーン・カー賞の3部門を同時に受賞したのはワールドカーの15年の歴史の中で、史上初の快挙。



ジャガーのチーフ・デザイナー、イアン・カラム氏は、「ハットトリックが取れるとは夢にも思いません

会場のジャヴィッツ・センターに駆けつけたジャガーのチーフ・デザイナー、イアン・カラム氏は、三つ目のトロフィを手にしてこう言った。「ハットトリックが取れるとは夢にも思いませんでした。やはり今はEV時代の到来が確実だと言えます。私が子供の頃に描いた最高に格好いいクルマのスタイリングが、このEVパワートレーンのおかげで作れるようになりました。大きなエンジンをフロントに載せなくても良くなったので、こんなに綺麗なデザインができたと確信していますし、デザイナー達に冒険の余地を与えてくれました。私が20年もかけて結成してきたジャガーのデザインチームに「ありがとう」と言いたいです」と語った。

メディア露出度において、6年連続で世界 No. 1 の座を獲得した自動車賞プログラム「ワールド・カー・アワード」の小型車部門「ワールド・アーバン・カー賞」は、韓国の現代とキアのライバル車を押さえて、日本からの唯一のファイナリスト、スズキ・ジムニーが見事に受賞した。わざわざ日本から飛んで来た会場で、期待を隠せなかったスズキ四輪商品第二部チーフエンジニア・米澤宏之氏が、「勝者はジムニー」と発表された時、嬉しさのあまり、大きな声をあげた。500人を前に「今回は3回目のトップ3入りでしたが、ついにアーバンカー賞の受賞ができて非常に嬉しいです。スズキは50年に渡ってジムニーを作り続けてきました。今回の受賞は、世界中のジムニー・ドライバーのにとって、大きな喜びです。このトロフィを早く日本に持って帰りたいです」と、受賞の挨拶をした。

また、24か国からの86人の選考委員たちの投票によって、ワールド・パフォーマンス・カーは、マクラーレン720Sが獲得し、ワールド・ラグジュアリー・カー賞を受賞したのは、アウディ A7だった。

共同会長はピーター・ライオン（日本）とマイク・ラザフォード（イギリス）、プレジデントはジェリー・マロイ（カナダ）、事務局長はベス・ラインド。また、ワールド・カー・アワードはいいかなる出版社、オートショー、自動車メーカーおよび企業の影響も受けない、独立した非営利プログラムである。本日の発表、受賞の写真は、ウェブサイトからダウンロードが可能です。 [www.wcoty.com](http://www.wcoty.com) > Award Photos. 詳細は、ベス・ラインドにお問い合わせください。 Beth Rhind, Executive Manager, E: [beth@wcoty.com](mailto:beth@wcoty.com), T: 1.705.924.3444.

\*\*\*\*\*